様 式 C - 7 - 1 該当する研究種目 ... 「特別推進研究(COE)」を除く全ての研究種目

平成17年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1 4 6 0 3 1. 機 関 番 号

2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 特別研究員奨励費 4. 研究期間

平成15年度 ~ 平成17年度

5. 課 題 番 号 1 1 5 1 • 10 13 12 19 15

6. 研 究 課 題 名 高機能ポリオレフィンの精密合成を可能とする高性能遷移金属錯体触媒の設計と合成

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所属部局名	職名	
2 0 3 0 4 1 6 5	フリガナ ノムラ , コトヒロ	物質創成科学研究科	助教授	
.	野村 , 琴広	ᄁᄱᆽᄱᄱᄱᄀᄀᄀᄦᆝᄼᅝᆟᄀ	助教授	

8.研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
					がナ ワン,ウェイ WANG , Wei	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科	外国人特別 研究員
					7リカ [・] ナ		
					7リカ [・] ナ		
					フリカ [・] ナ		
					7Uħ' †		

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

本課題はポストメタロセン型のバナジウム錯体触媒の構造や電子・立体的性質の特徴を生かし て、従来にない新しい高機能ポリマーを創製することを主目的としている。また、新規高性能触媒の 候補として、(触媒性能に関する報告例のない)キレート 4 座配位子を有するチタン錯体に注目し、 オレフィン重合触媒としての可能性を追求している。平成17年度の主な成果は以下の通りである。

バナジウム錯体、 $VCl_2(N-2,6-Me_2C_6H_3)(OAr)$ ($Ar = 2,6-Me_2C_6H_3$ など)、によるエチレンと各種オレ フィンとの共重合を検討し、同錯体触媒がエチレンと環状オレフィンとの共重合に極めて高い触媒 活性を示し、超高分子量ポリマーを与えることを見出した。エチレン重合や同共重合における触媒 活性やオレフィンの相対反応性、生成ポリマーの分子量は、使用するアリロキソ配位子よりもむしろ 使用する助触媒(有機 Al 化合物)や溶媒の影響を強く受け、さらに有効な助触媒、溶媒が反応によ り異なることも明らかになった。これは触媒活性(カチオン)種と助触媒(アニオン種)との相互作用に 起因すると考えた。特にジクロロメタン溶媒中で EtAlCl2 助触媒を用いるエチレン重合では、従来の 遷移金属触媒による重合で最も高いレベルの触媒活性を示した。

キレートアリロキソ配位チタン錯体触媒によるオレフィン重合のための触媒設計に関する知見を得 ることを目的に、シクロペンタジエニル - アリロキソチタン錯体触媒によるエチレンと環状オレフィン(ノルボルネンやシクロペンテン)との共重合を検討した。特定の配位子の組み合わせによるチタン錯 体触媒を用いると、従来の触媒技術では進行しなかった、エチレンとシクロヘキセンとの共重合がは じめて進行する事実を見出した。

成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

- (1) 遷移金属錯体触媒
- (2) ポストメタロセン
- (3) オレフィン重合

- (4) ポリエチレン
- (5) チタン錯体
- (6) 触媒設計

(7) バナジウム錯体

(8) 均一系触媒

(裏面に続く)

11.研究発表(平成 1 7年度の研究成果) [雑誌論文] 計(3)件

著	者	名		論	文	標		題
Wei Wang	他 				lene with cycloho aryloxo ligand: N			
*	1	誌		名	巻・号	発 行	年	ページ
Journal of A	merican	Chemical Socie	ety (Commu	inication)	127	2 0 (0 6	4582-4583
著	者	名		論	文	 標		題
Wei Wang				effects of Al	cocatalyst and coaryloxo)vanadiur	omonomer in eth	nylene co	polymerizations
*	±	誌		名	巻・号	発 行	年	ページ
Macromolec	cules				38	2 0	0 5	5903-5913
著	者	名		論	文	標		題
Wei Wang	也			cts of alumin	um alkyls and sol yzed by (arylimic	lvents for highly		
*	ŧ	誌		名	巻・号			ページ
Advanced Sy	ynthesis	& Catalysis (i	in press)			2 0 (0 6	
著	者	名		論	文	—————— 標		題
杂	<u> </u>	誌		名	巻・号	発 行	年	ページ
著	者	名		論	文	標		題
*	±	誌		名	巻・号	発 行	年	ページ
 著	 者	5			₩	大西		題
	<u> 13 </u>	名		п⊞	文文	標		산조
*	±	誌		名	巻・号	発 行	年	ページ
						1 1	-	
〔図 書〕	計() 件		_ 				
著	者	名		出	版	Į	社	
		書		名		発 行	年	総ページ数
							!	
2. 研究成果は 計()		美所有権の出願・ 	取得状況					
工業所有	権の名称	発明者	権利者	工業所有	権の種類、番号	号 出願年	 月日	取得年月日

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日